昨年のご支援・ご指導ありがとうございました。 2009年を暮らしと平和を守り希望の持てる新し い政治の実現へ、今年も市民のみなさんとともに 全力でがんばります。

日本共産党野洲市議会議員団





日本共産党市議団

市民の願い実現へ全力

新市長となり始めての定例市議会でした。市長提 案の議案16件。意見書7件と請願1件が提案され ました。その内、共産党市議団は、20案件に賛成、 市民犠牲の3案件に反対しました。

人を人として扱わない派遣労働。共産党市議団は、「日雇派遣の禁止や常用雇用化」などを求めた意見書を提案しました。今、非正規雇用の解雇や雇い止めが行われています。市内でも村田製作所が大量の雇い止めをしています。雇用と暮らしを守ることを求めた意見書ですが、豊政会と公明党は反対しました。

滋賀県が子どもの医療費無料化制度の所得制限強化

12月定例市議会は12月4日から22日まで 開催されました。日本共産党市議団は、深 刻な経済不況のもと、暮らしを守る願いを市 政に届けました。

や小中学校の教員加配削減·廃止を計画。共産党市議団は、県民犠牲の削減や負担強化をやめることを求めた「収支改善に向けた更なる見直しに関する意見書」を提案しました。しかし、他会派は全員反対しました。

消えた年金の完全解決や最低保障年金制度の制定を求めた意見書を提案しました。最低保障年金制度について、「あいまい。財政負担がかかる」などとして公明党、豊政会が反対しました。

市道路占用料条例を改正。これにより、NTTや関西電力、大阪ガスなど大企業3社だけでも、年間約1000万円も引き下げられます。大企業優遇から市民の暮らし優先の市政を求めました。



新年度市予算の編成に際し、「市民の 切実な願いを反映するよう」にと、山仲市 長に申し入れを行いました。暮らしの要求 実現へがんばります。(11月20日) (市議団ホームページの「政策&見解」に掲載しています) みなさんから寄せられました願いをまとめ

山仲市長に要望書を提出しました





深刻な景気の悪化 打開へ、市内の諸 団体のみなさんと 懇談しました。(12 月8日)

ば

村田製作所の「派遣労働者"雇い止め"やめよ」の野洲駅宣伝です。(12月22日)

市議団ホームページをご覧ください http://www.yasusigi.net/

日本共産党野洲市議団ニュース (№15)

発行:日本共産党野洲市議会議員団

2009年1月1日

菅 六雄

直し」

を表明しました。

して、

一部の施策について「

すべき」と求めました。答弁で

り組みと成果の上に立ち「終結

同和行政では、これまでの取

は、「総花的にはやらない」と

総務常任委員会 治水対策特別委員会 (電話) 589 - 4971

山仲新市長に市民の暮らしと公平・民主的な市政を求めました

した。 画内容からも再検討を求めま が求められています。 の答弁ですが、現農政の再認識 長は「現時点では必要ない」と 定をすべき」と求めました。 と答弁しました。 た。市長は、「撤回を求める」 市農業振興のために「条例制

していく」との答弁でした。 でも見直しを指摘しています。 「疑問もあり、もう一度、議論 駅前整備は、財政上からも計 市の「外部評価委員会」

`もの保険証取り上げやめよ。「障害者自立支援法」廃止し命を守れ 滞納すれば、 野洲市では国保税を一年 「機械的」に保険



所得制限強化や小中学校の教 子どもの医療費無料化制度に

滋賀県が

財政改革」として、

師加配廃止や削減を計画して

回を求めるべき」と主張しまし

います。

小菅市議は、「県に撤

弁しました。 世帯については、一月から3ヶ月 議は、「直ちに保険証の交付を の結果、なんの責任のない子ど もまで無保険状態です。野並市 証が取り上げられています。そ 有効の保険証を交付する」と答 行うべき」と強く求めました。市 は、「中学生以下の子どものいる

見直しがされますが、国の負担

れ過酷な制度です。来年に向け

らも保険料や利用料が徴収さ

介護保険では、非課税世帯か

を制定すべき」と求めました。

なく、現支援法は廃止し、命と 野並市議は、「こて先の見直しで

市民活動を支援したいと答弁

暮らしを守る 障害者福祉法』

車度の人ほど負担が重くなり

現行の「障害者自立支援」は

|と暮らし守る「障害者福祉法」の制定を

「自殺支援」と言われています。

を 50%にして、負担を軽減すべ

きと求めました。

文教福祉常任委員会、防犯防災対策特別委員

会(電話)588-3169

暮らしと雇用を守れ! 市内企業の実態調査と正規雇用への指導を

問いました。 さらに多様な取り組みを行い められている」として市の姿勢を が広がっている。一層の支援が求 市議は、「野洲市では、環境基 されない人類的課題です。太田 多様な市民活動に対する支援強化を地球温暖化は一刻も猶予が許されない 本計画のもと、市民レベルの活動 地球温暖化は一刻も猶予が許 市は、 行政として

労働者の待遇は低いといつ認識 施することや正社員化の指導 していく」と答弁しました。 を示しつつ「社会的な責任を求 をすべき」と求めました。市は、 市内企業の雇用実態調査を実 法の改善を国に主張すること。 hį 体力がありながら許されませ 雇」を行っていますが、まだまだ 非正規労働者の「雇い止め」「解 景気悪化を理由に大企業が 限定された制度の中で調整 太田市議は、「労働者派遣

12月定例会の主な議案の態度	太田健一	野並享子	小菅六雄		川口東洋	鈴木市朗	西本俊吉	本田章紘	矢野隆行			内田聡史		田中良隆			田中孝嗣	中田幸子		原田薫	田中栄太郎	林克	秦 眞治	河野 司
掲載の意見書は共産党市議団が提案 ○=賛成 ●=反対	無	集	無	⑪	(金)	争)	②	②	②	公	豐	豊)	豊	豐	豊	豐	豐	豊	豊	豐	豊	豊	豊)	豊
市道路占用料条例改正(関電やNTTの市道占用料を大幅値下げ)																								
後期高齢者医療保険会計補正予算																								
滋賀県の「収支改善に向けた更なる見直しに関する意見書」																								
「いまも将来も安心できる年金制度を求める意見書」																								議
「消費税の増税を行わないと当面食料品の非課税を求める意見書」																								_
「労働者派遣制度に関する意見書」																								長
「汚染米の食料への転用事件の全容解明と徹底回収、外米(ミニマムアクセス米)の輸入中止を求める請願」(日本共産党が紹介)																								

食の安全と日本農業を 守ることは市民のみなさんの 願う緊急の課題です

定例議会には、「汚染米の食料への転用事件の全容解明と徹底回収、外米(ミ ニマムアクセス米)の輸入中止を求める請願」が提出されました。 市農業委員会 でも、野洲市農業を守り振興へ「食の安全とミニマムアクセス米の撤廃」を建議し ています。しかし、請願は豊政会などの反対で不採択となりました。

共 = 共産党市議団 市 = 市民ねっと ネ = ネットワーク野洲 公 = 公明党

豊 = 豊政会